



# 笠間の輝く女性たち 6

## 地域に密着した医療をめざして

市立病院は、昭和 34 年、友部町国保病院として開業しました。現在は常勤医師 2 名、非常勤医師 1 名で内科、外科、皮膚科の診療を行っています。

市立病院は、市民のための病院として地域医療の重要な役割を担っており、高齢者の方が安心してかかれる病院をめざして、在宅医療に重点を置き、訪問診療も積極的に行っています。



「患者さんの話をよく聞くように心がけています」と話す白土医師

市内には各分野で女性としての先駆者となって活躍している方がいます。このコーナーでは、そんな新天地を切り開き、輝きを放つ笠間の女性を紹介し、男女共同参画社会の実現を目指します。

## インタビュー

笠間市立病院内科医 白土 綾佳 さん(中央)

今年 4 月に市立病院に赴任された白土(しらど)医師にお話を伺いました。

### ①医師をめざそうとしたきっかけは？

人とのコミュニケーションが好きなことを生かして、人に役立つ仕事に就きたいと思っていたことや、中国に住んでいた頃、病院にかかれない子どもがいることを知り、この道に進もうと思いました。平成 14 年に赴任した県立中央病院が医師としてのスタートとなりました。

### ②先生のご専門は？

消化器内科といって、胃カメラなどを使ってお腹の中の病気を治療することが専門ですが、総合医療をめざしているので、専門外でも患者さんの症状などをよく聞いて、適切なアドバイスをしています。専門的な治療が必要である場合は、専門医を紹介しています。

市立病院に赴任して 6 か月。「夜間や休日にも診察することがあります。家庭と仕事の両立は難しいですが、患者さんの回復する姿や笑顔、夫の理解に支えられて、日々、患者さんと向き合っています」と話してくれました。

問合せ：男女共同参画推進室（内線224）



## かさま ぽけっと

子育て支援のページ

6

「赤ちゃん訪問」に関するお問い合わせは、お住まいの地域の保健センターにお願いします。

- 友部保健センター 0296-77-9145
- 笠間保健センター 0296-72-7711
- 岩間保健センター 0299-45-7888



## 『赤ちゃん訪問(全戸訪問事業)』をご存知ですか？

「赤ちゃん訪問」とは、生後 4 か月までの乳児のいるすべての家庭を保健師等が訪問し各相談を行う子育て支援事業です。

- ◆ 対象者 生後 4 か月までの乳児のいる家庭
- ◆ 訪問者 保健師及び担当職員
- ◆ 事業内容 生後 2 か月前後の乳児のいる家庭を対象に保健師が訪問し次の支援を行います。



- ① 育児に関する不安や悩みの相談
- ② 子育て支援に関する情報提供
- ③ 乳児の身体計測及び予防接種の受け方の保健指導等

※ 訪問前に保健センター担当職員から電話連絡があります。

かさまぽけっとアドレス

<http://www.city.kasama.lg.jp/kosodate/index.html>

問合せ：子ども福祉課（内線164）

### 人口と世帯数（常住人口 8.1 現在）

- 人口 79,904 人 (- 2 人)
- 男 39,149 人 (- 3 人)
- 女 40,755 人 (+ 1 人)
- 世帯数 28,035 世帯 (+ 4 世帯 (前月比))

○広報かさまに掲載されているあなたの写真を差し上げます。お問合せは秘書課(内線225)まで。



再生紙を使用しています。

○市ホームページモバイル版では、行政・災害などのさまざまな情報をお届けしています。アドレス

<http://www.city.kasama.lg.jp/mobile/>

